

令和 8 年 8 月 21 日
14 時 00 分 現在
九州運輸局災害対策本部

注) 朱書きは前回報告からの追加修正

熊本地方の地震にかかる九州運輸局の対応状況【第 14 報】

1. 鉄道関係施設の被害等の状況

○施設被害

＜新幹線＞

JR 九州 ・ 九州新幹線（熊本駅～新水俣駅間）

構造物の変状 約 600 箇所

〔防音壁落下、橋脚・橋桁変状、高架橋損傷等〕

軌道変状 約 300 箇所

〔レールゆがみ、継目部の破断、部材の損傷等〕

※被害状況確認終了し、復旧計画策定中

＜在来線＞

JR 九州 ・ 鹿児島線（宇土駅～八代駅間）

構造物の変状 約 40 箇所

〔橋りょう変状、乗降場変状〕

軌道変状 約 100 箇所

〔レールゆがみ〕

電柱等電気設備損傷多数

※被害状況確認終了し、復旧計画策定中

肥薩おれんじ鉄道 ・ 肥薩おれんじ鉄道線（八代駅～水俣駅間）

軌道変状、架線断線、乗降場破損等 計 96 箇所

※被害状況確認中

○運転見合わせ・再開の状況（見込み含む）

＜新幹線＞

- ・ 運転を見合わせている路線：1 事業者 1 路線

JR 九州 ・ 九州新幹線（熊本駅～新水俣駅間）

〔復旧には大幅な時間を要する見込み（8 月中の再開は困難）〕

〔運行再開見込みは 8 月中に公表予定〕

〈在来線〉

- ・ 運転を見合わせている路線：2 事業者 2 路線

JR 九州 ・ 鹿児島線（宇土駅～八代駅間）

〔復旧には大幅な時間を要する見込み（8 月中の再開は困難）〕

〔運行再開見込みは 8 月中に公表予定〕

肥薩おれんじ鉄道 ・ 肥薩おれんじ鉄道線（八代駅～水俣駅間）

〔復旧には大幅な時間を要する見込み〕

○代行バス輸送の実施状況（見込み含む）

- ・ JR 九州 ・ 鹿児島線（宇土駅～八代駅）

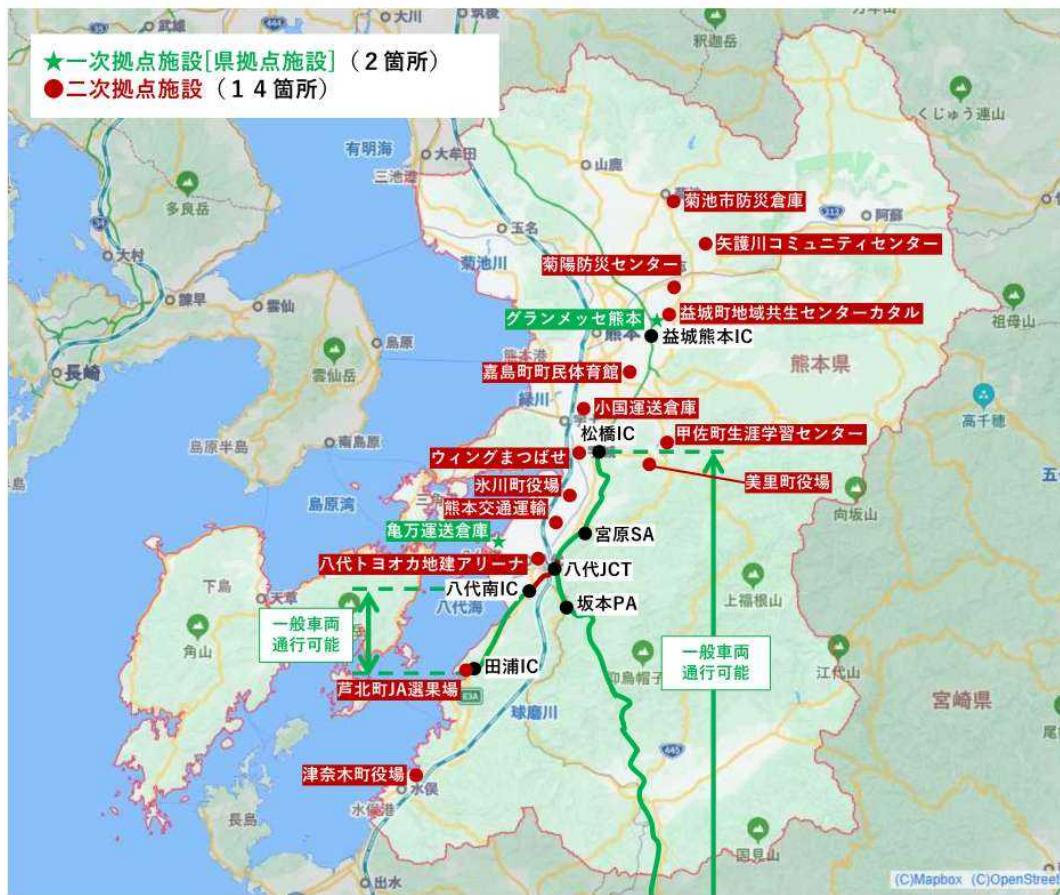
- ・ 宇土駅～松橋（まつばせ）駅間、宇土駅～小川（おがわ）駅間：8 月 19 日より
運行開始（朝夕の時間帯のみ）

（九州運輸局のこれまでの対応）

- ・ 熊本県及び JR 九州に対し、九州管内の貸切バス事業者情報（対応可能な車両数
リスト）を提供済み
 - ・ 県外事業者で輸送対応する際は道路運送法第 20 条第 1 項に基づき区域外の運行
が可能な旨、九州管内の全貸切バス事業者に周知済み
-
- ・ 肥薩おれんじ鉄道 ・ 肥薩おれんじ鉄道線（八代駅～水俣駅）
 - ・ 八代駅～水俣駅間：8 月 10 日より運行開始

2. 緊急物資輸送

一次拠点、二次拠点の位置図



3. 鉄道以外の所管事業施設の被害等の状況

(1) 自動車関係

○バス運行状況【高速バス】 4事業者 4路線 運休

事業者名	路線（方面）名	被害状況
JR 九州バス	新八代～宮崎	運休
宮崎交通	新八代～宮崎	運休
九州産交バス	福岡～宮崎	運休 九州産交バスは 8/23 まで運休
産交バス	新八代～宮崎	運休

○タクシー関係

人的被害：なし

物的被害：以下のとおり

(法人)

- ・建物被害 26 社（うち、熊本県：25 社、福岡県：1 社）
- ・車両損害 8 社 10 両（修理可能：10 両、修理不能：0 両）
- ・営業不可 → 縮小営業に移行
- ・縮小営業 4 社 92 両（八代交通圏）
※時短営業または一部営業とし、乗務可能な人員で営業中
- ・縮小営業 → 通常営業に移行（宇城市）

○トラック関係

- ・熊本県トラック協会（以下「県ト協」という）会員被害状況（8 月 21 日現在）

人的被害 12 事業所・16 名怪我

施設被害 営業所等全壊 2 事業所

営業所等一部損壊 92 事業所

車両被害 11 事業所

○自動車整備事業関係

- ・熊本県内の自動車整備工場

人的被害 1 名

施設被害 55 件（リフトからの車両の脱落、シャッター等の損傷等）

事業継続支障 7 件（シャッターの損傷、整備機器損傷等）

(2) 倉庫関係

○倉庫業関係

施設被害（計 51 事業者）

- ・宇城八代地区：18 事業者（荷崩れ・ラック破損、壁・ドア破損）

- ・熊本地区 : 17 事業者 (荷崩れ・ラック破損、天井・壁等破損)
- ・上益城地区 : 4 事業者 (荷崩れ・ラック破損、天井・壁等破損)
- ・天草地区 : 2 事業者 (荷崩れ)
- ・鹿本菊池地区 : 9 事業者 (荷崩れ・ラック破損、天井・壁等破損)
- ・荒尾玉名地区 : 1 事業者 (シャッター破損)

なお、人的被害はなし。

(3) 海事関係

○造船所関係 熊本県内全 15 事業者

人的被害 : なし

施設被害 : あり 5 事業者 (熊本県) 事業再開 5 事業者 (一部再開を含む)

- ・施設被害状況を調査中、工場内の道路にもダメージがあり、復旧には 1 週間程度かかる見込み
- ・約 3 割の従業員が出勤して復旧作業中。⇒8/10 から一部営業再開。⇒ 8 月 24 日(月)から浮きドックでの修繕業務を再開予定。
- ・ジブクレーン (10t) 1 機に約 1.2° の傾斜が確認され修理予定⇒クレーンを使用しない軽微な業務を再開

○船用工業関係 熊本県内 17 事業者 (被害なし 16) 事業再開 1 事業者

人的被害 : あり 1 事業者

- ・軽い打撲の従業員が複数名

施設被害 : あり 1 事業者 (熊本県)

- ・工場内への立入禁止が解除され被害状況を調査。8/17(月)より順次工程毎に生産開始予定。⇒8/17(月)より順次工程毎に生産開始。

○港湾運送関係 (第 12 報から変更なし)

<八代港> 6 事業者 事業再開 1 事業者

人的被害 : なし 6 事業者

施設被害 : あり 6 事業者

- ・倉庫内の貨物が一部倒壊
- ・エプロンから 1 ~ 2 m 程度の範囲で 30cm の段差が生じており、ストラドルキャリア が近くに行けない状態。
- ・ガントリークレーンは動かしていないので状況は不明
- ・ガントリークレーンのレールに歪みがあり、油漏れが発生し、使えない状況
- ・岸壁付近は一部に液状化、陥没しており荷役ができない状況
- ・3 段積みコンテナが倒れてはいないが、ズレが生じている
- ・当分の間、八代港は抜港されるとみられるため荷役はない
- ・家屋が全壊した社員もあり、ギャングが組めるか不透明

- ・ 事務所が停電、断水している
- ・ アンローダー 2 機のうち 1 機がレールから脱輪
- ・ 荷主が日本製紙メインのため、日本製紙の八代工場が被災した関係で当面、荷役再開の目処が立たない

コンテナ航路の状況

- ・ 八代港に寄港する国際コンテナ航路のうち、プサン航路（7 月 29 日、7 月 31 日寄港）の 2 便は抜港、台湾航路便は当面の間、寄港取りやめ。

（４）観光関係

○ホテル避難

- ・ 熊本県は 8 月 3 日から、避難者向けにホームページでの周知を開始。8 月 8 日（土）13：00 から専用コールセンターを開設。（9:30～17:30 ※土日祝も運営）

【ホテル避難】（8 月 19 日 14:00 現在）

受入可能施設 170 施設（熊本県内）

申し込み件数 1,264 件、マッチング済件数 361 件

- ・ 現在、避難先のホテルへの移動は被災者ご自身でお願いしているため、車を保有しない避難者の輸送手段の確保が今後の課題。

○宿泊施設（8 月 21 日 14:00 現在）

注）余震が続いている状況であり、宇城市・美里町においては、現在も避難指示が継続している地域がある。被害全容の把握には時間を要する見込み。なお、各施設の修理については、完了までに時間がかかる見込み。

◆物的被害

【佐賀県】壁崩れ・ひび 1 件

【長崎県】壁崩れ・ひび 3 件

【熊本県】

- ・ 建物被害等により営業中止 12 件
- ・ 断水中 2 件
- ・ ガス供給停止中 1 件
- ・ 壁崩れ・ひび 2 件
- ・ エレベーター停止中 13 件
- ・ 立体駐車場使用不可 4 件

【鹿児島県】

- ・ 立体駐車場使用不可 1 件

○観光施設関係（8月21日 14：00現在）

《物的被害・人的被害》

- ・物的被害：【熊本県】熊本市 1 施設
- ・人的被害：なし

4. 対応体制等

(1) 九州運輸局の体制

7 月 28 日（火）16:28 非常体制

- ・九州運輸局災害対策本部の開催状況

7 月 28 日 17:28 第 1 回本部、20:45 第 2 回本部

7 月 29 日 8:45 第 3 回本部、13:40 第 4 回本部

7 月 30 日 11:15 第 5 回本部

7 月 31 日 16:15 第 6 回本部

8 月 1 日 14:15 第 7 回本部

8 月 4 日 10:20 第 8 回本部

8 月 5 日 15:20 第 9 回本部

8 月 7 日 14:15 第 10 回本部

8 月 10 日 14:15 第 11 回本部

8 月 12 日 14:15 第 12 回本部

8 月 18 日 14:15 第 13 回本部

8 月 21 日 14:15 第 14 回本部

(2) リエゾン・現地本部要員の派遣

九州運輸局から熊本県庁へ 2 名を派遣（リエゾン 2 名）

担当業務：緊急支援物資の物流関係（リエゾン 1 名）

現地災害対策本部との連絡・補助（リエゾン 1 名）